

第4次静岡県がん対策推進計画の ロジックモデル（案）について

第4期がん対策推進基本計画（国）

第3 がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

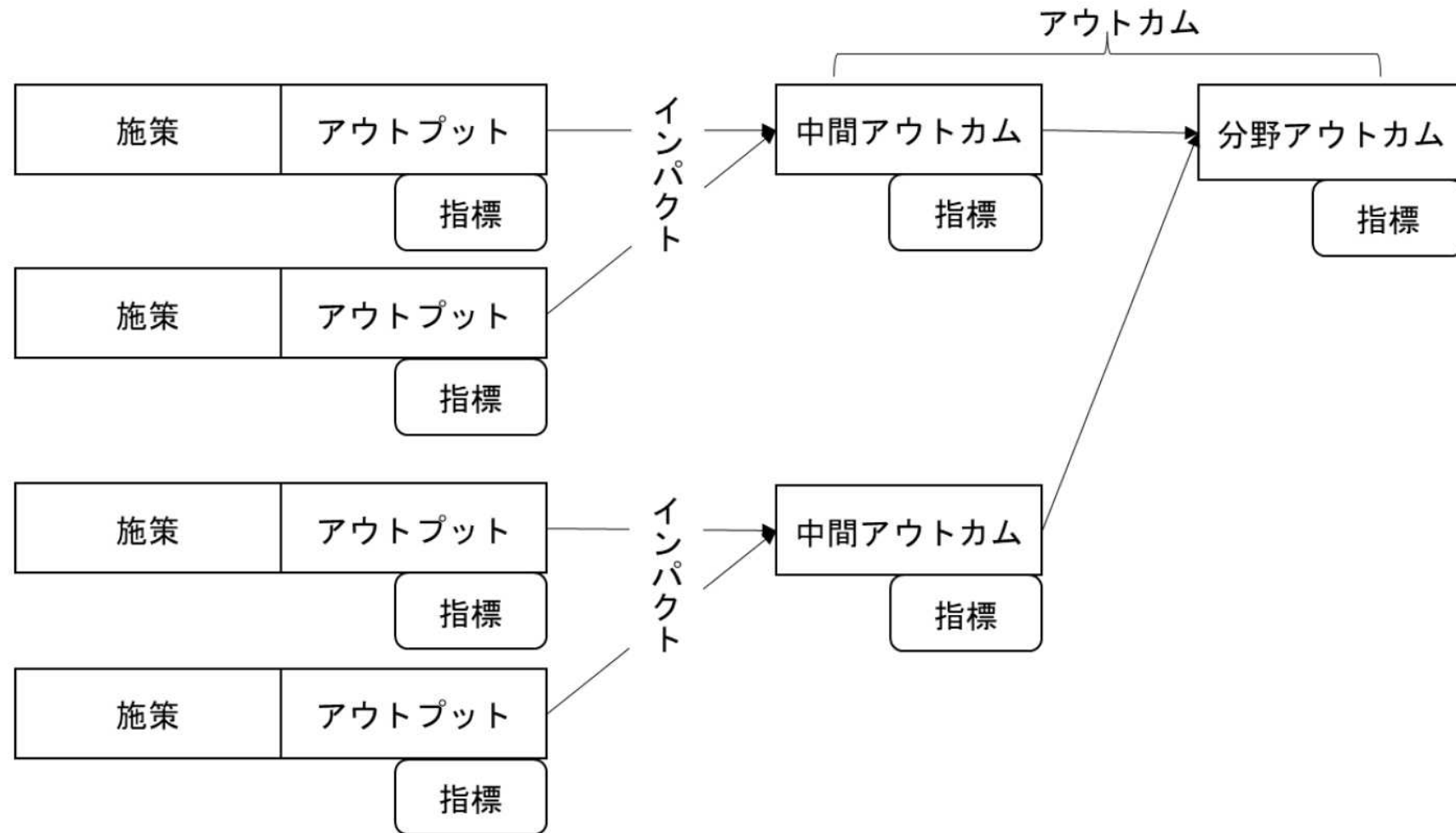
3. 都道府県による計画の策定

都道府県は、本基本計画を基本としながら、当該都道府県におけるがん患者に対するがん医療の提供の状況等を踏まえ、都道府県計画を策定する。都道府県計画は、医療計画、都道府県健康増進計画、都道府県介護保険事業支援計画等のがん対策に関連する事項を定めるその他の計画と調和が保たれたものとする。また、地域の実情に応じた自主的かつ主体的な施策や普及啓発の取組を盛り込むことが望ましい。

都道府県は、都道府県計画の策定過程において、がん患者等の都道府県協議会等への参画等を含めた患者・市民参画を推進し、関係者等の意見の聴取に努める。

また、都道府県は、都道府県計画に基づくがん対策の進捗管理に当たって、PDCAサイクルの実効性確保のため、ロジックモデル等のツールの活用を検討するとともに、当該都道府県におけるがん医療に関する状況の変化やがん対策の効果に関する評価を踏まえ、必要があるときには、都道府県計画を変更するよう努める。

保健医療計画におけるロジックモデルの構成要素

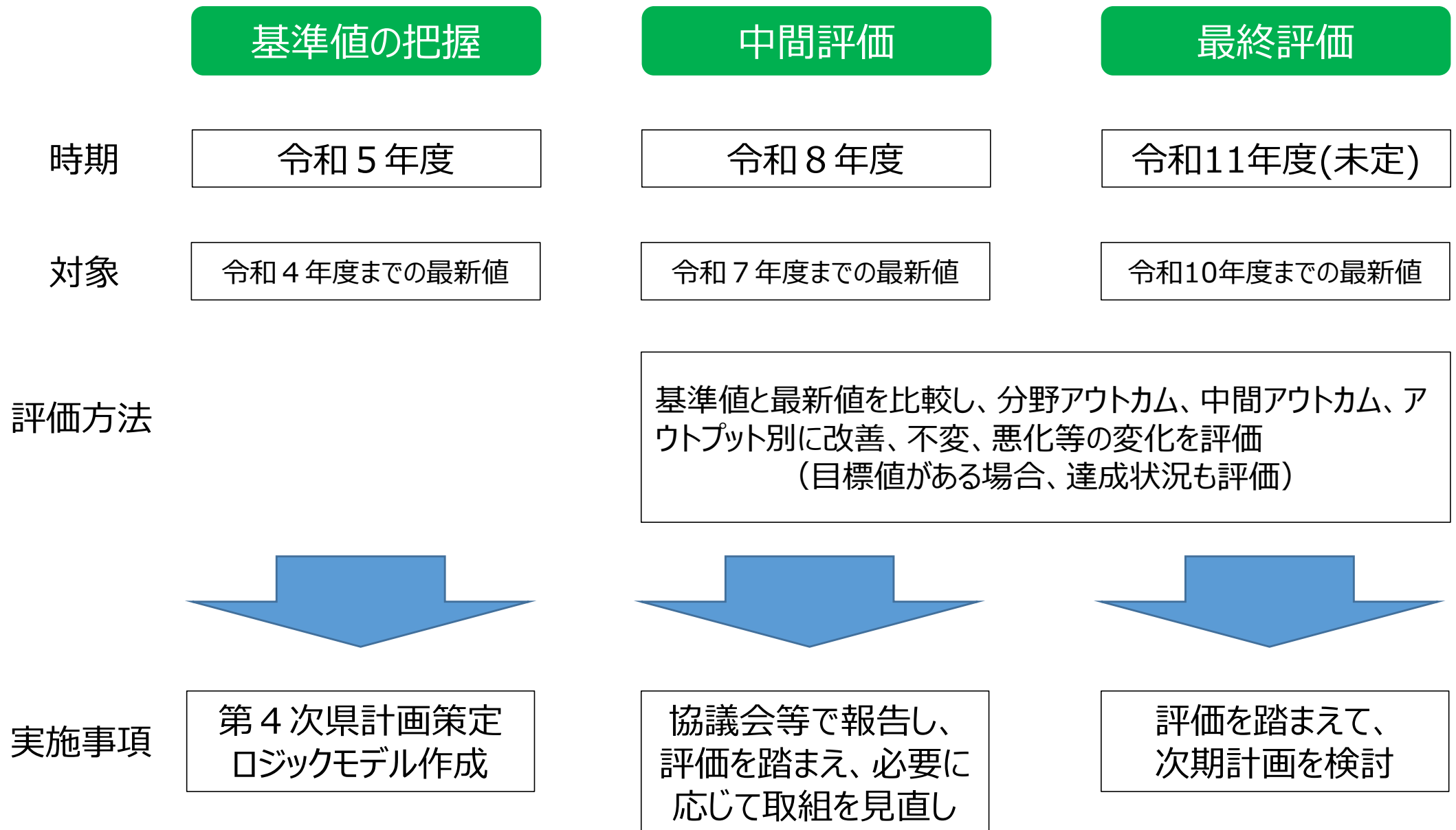


- ・アウトカムは、「分野アウトカム」「中間アウトカム」など、段階に分けて記載する。例えば、政策分野の目標である長期成果（分野アウトカム）を設定した上で、それを達成するために必要となる中間成果（中間アウトカム）を設定し、当該中間成果（中間アウトカム）を達成するために必要な個別施策を設定する。
- ・この図において、分野アウトカムに関する指標は、アウトカム指標又はプロセス指標を、中間アウトカムに関する指標はプロセス指標又はストラクチャー指標を使用することが想定される。アウトプットに関する指標は、その施策の実施状況を示すものを使用する。

「疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制について」

令和5年3月31日付け医政地発0331第14号厚生労働省医政局地域医療計画課長通知（令和5年6月29日最終改正）

ロジックモデルの活用イメージについて



ロジックモデル案の概要

- 全体の構成は、国ロジックモデルを参考とする。
 - ・柱Ⅰ～Ⅲは、それぞれに中間アウトカムを置き、分野アウトカムにつながる。
 - ・柱Ⅳは柱Ⅰ～Ⅲの基盤であり、分野アウトカムを設定しない。
- 使用する指標は、以下の3つを基本とする。
 - ①県計画の目標案
 - ②国ロジックモデルの指標
 - ③保健医療計画の目標案
- 個々の「具体的な戦術」には指標を設定せず、施策の方向性に対して指標を設定する。

中間アウトカム：がん検診の受診率のような「具体的な戦略」ごとに設定する目標

分野アウトカム：がん死亡率減少等の最終的な目標

施策の方向性：「1 たばこ対策の強化」であれば「喫煙防止対策」、「受動喫煙防止対策」等、具体的な戦術をまとめたもの

4 がん検診の受診率向上と精度管理の推進

頁	該当部分	意見内容	対応
6	施策の方向性・アウトプット	<p>○以下の指標を追加すべき。 「健診センター数」 「乳腺外科クリニック数」 「胃がん内視鏡実施機関数」 「胃内視鏡医数」 （受診率を向上させるためには、受診環境の整備が不可欠である。現在不足がちな検診施設を増やしていく取組が欠かせない。）</p>	<p>○いただいた御意見に関する指標を正確に把握する方法がないため、以下の指標を代用・追加します。 「人間ドックを実施する医療機関数」 （出典：全国健康保険協会HP） 「市町が行うがん検診の実施機関数（乳）」 （出典：県疾病対策課調査） 「市町が行うがん検診の実施機関数（胃内視鏡）」 （出典：県疾病対策課調査） 「内視鏡専門医数」 （出典：日本消化器内視鏡学会HP）</p>

13 小児がん、A Y A世代のがん医療の整備

頁	該当部分	意見内容	対応
18	施策の方向性・ アウトプット	<p>○以下の指標を追加すべき。 「AYA世代のピアサポートを運営する患者支援団体にアクセスできた患者の数」 （個別性の高い若年がん患者への支援には、ピアサポートが有効であると考えられるが、アクセスできるかどうかも課題となっているため。）</p>	<p>○いただいた御意見に関する指標を正確に把握する方法がないため、既設の指標を代用します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じる若年がん患者の割合</p> </div> <p>出典：患者体験調査</p>

24 患者団体等との連携・協働及び支援

頁	該当部分	意見内容	対応
31	中間アウトカム	<p>○以下の指標を追加すべき。 「がん対策に、より経験者の声を反映できるよう協議会の部会を設置する」 （協議会の患者委員が、その経験をよりがん対策に反映できるようにするため、特に強化したい分野について話し合いの場をつくる必要性を感じるため。）</p>	<p>○がん対策推進協議会における患者会代表委員については、より多様な意見をいただけるよう活動地域やがん種を考慮し、選考させていただいております。協議会の場において多くの委員に御参画いただき、様々な意見を御発言いただいておりますので、現時点で、部会の設置は考えておりません。</p>